小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人么	名	社団 洛和会	代表者	矢野一郎
事業所	名	洛和小規模多機能 サービス西院	管理者	井上由紀子

法人・ 事業所 の特徴

- ・サービス変更時の受け入れ
- ・ご利用者のペースにあわせたサービス提供
- ・職員間の情報共有と誰でも発言できる環境
- ・町内会の行事などの参加

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民·地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	3 人	0人	0人	1人	0人	2 人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画	
	①職員の評価自体の理解力を向	①主眼学習回までは出来なかっ	◎この評価制度自体、一般の地域	要望通り、数値の前年比など、少	
A. 事業所自己評価の	上させる(無回答が少なくなるた	たが、趣旨説明回は設けた	住民にとってまだ分かりにくい	しでも解りやすい記載に工夫す	
	めの勉強を実施)	②前年度より早めに取り組む事	◎設問の意味自体が分かり辛く、	る。	
確認	②来年度は早めの取組を実施	はできた	評価の仕方に迷う。前回より訪問		
			何件アップ等、具体的記載があれ		
			ば、まだ評価しやすい。		
	①駐輪場等の位置掲示を設置	①多忙に紛れ、未実施。	◎施錠どころか利用者がよく外	①駐輪場掲示を設ける。	
B. 事業所の	②ガーデニングを継続	②前年は職員のみで実施。今回は	気浴しており良い。	②前年度は季節の飾りが少なく	
しつらえ・環境		利用者やボラも協働できた。	◎花壇に地域の子が着目してお	殺風景で、現在改善中。これを継	
			り、交流の契機になるかと。	続。	
	①好評の事業所主催イベントを継続	①本年度も同べ、汁を開催し、前	◎今後も①を継続してほしい。	①イベントの継続。	
C. 事業所と地域の かかわり	②地域店舗へ利用者様と出かる	回より地域の参加者が増えた。	◎地域マンション集会に、ミニ介護教室	②依頼あれば地域の教室に協力。	
13-13-47 D		②少しずつだが頻度向上。	講師として事業所が来て欲しい	③利用者との地域外出継続。	
D. 地域に出向いて	認知症安心サポーター講座開催	地域小学校でのサポーター講座	グループホームと小規模の違いがよう	地域向け広告をポスティングし、通所	
本人の暮らしを	を目指し準備に取り組む	に、事業所がオブザーバーで出席	やく解った。入所でなくても相談	無料体験や介護相談のキャンペーンを	
支える取組み		するなど、足がかりはできた。	するので今後宜しく。	始めた。これを継続し地域に根ざ	
又んる収組み				していく。	
	①地域の困り事を引き出す議題	①「困り事は?」と尋ねるに留ま	心配な住民は入所という先入観	会議時、「心配な地域住民は?」	
E. 運営推進会議を 活かした取組み	を設ける	り、具体性はまだまだ。	で会議に挙げた。今後は小規模の	等でなく、「様子見の要りそうな	
	②カフェ先行施設等に学ぶ	②事業所は狭く、場を借り地域共	特性に合った相談をしたい。	方は?」等、具体的に聞きだす。	
		同開催が望ましいと判断。		レジュメにも予め設問を入れる。	
F. 事業所の 防災・災害対策	①地域の防災イベントに参加する	①事業所防災訓練が精一杯。	災害時の備蓄量や事業所受け入	災害時の受け入れキャパを本部	
	②世帯把握について包括に協力	②世帯把握に協力したり、こちら	れキャパを教えて欲しい。	に確認し、結果を推進会議等で伝	
例次 次音对采	する	から包括に相談した。		える	